

公益社団法人日本補綴歯科学会123回学術大会は、平成26年5月24日(土)、25日(日)に佐々木啓一先生(東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野・教授)を大会長として仙台国際センターにて開催された。矢谷理事長が掲げた「補綴歯科から発信する医療イノベーション」をメインテーマとし、次代の研究、歯科医療を拓く素晴らしい企画が盛り込まれた内容であった。

また、会期となった5月下旬は、「杜の都」の名に恥じず、仙台市内は青葉通、定禅寺通をはじめ街中が新緑に包まれていた。参加した医局員は、学会だけではなく、食や観光など、「杜の都」を存分に楽しんでいた。



定禅寺通り



仙台国際センター



西公園からみた広瀬川

学術大会に先立ち、23日(金)にホテル メトロポリタン仙台にて懇親会が開催された。仙台サクソフォンアンサンブルクラブによる演奏が行われるなど、趣向を凝らした懇親会であった。



佐々木啓一大会長の開宴の挨拶



余興 サクソフォン演奏

The 123rd Commemorative Scientific Meeting of Japan Prosthodontic Society

Day 1

Committee Seminar

学術大会第1日目午後は、第2会場にて委員会セミナー「ノンメタルクラスプデンチャーとは一適応とその留意点」が、藤澤政紀先生を座長に、笛木賢治先生、大久保力廣先生を講師として行われた。ノンメタルクラスプデンチャーについては、口腔内に適応後の調査結果などがほとんどなく、今後はエビデンスを集めることによって、学会としてガイドラインの作成に取り組みたいとした。



多くの聴衆が詰めかけた第2会場

Poster Presentations

学術大会2日に亘り、第5会場ではポスター展示と企業展示が行われた。ポスター演題数は131題であった。広い会場であったが、発表者と参加者で埋め尽され活況を呈した。

今回、講座からは、報告者らの「下顎位および顎機能の偏りが身体重心動揺に及ぼす影響(第8報)下顎位の偏位と全身症状について」を展示した。



第5会場 ポスター展示

Day 2

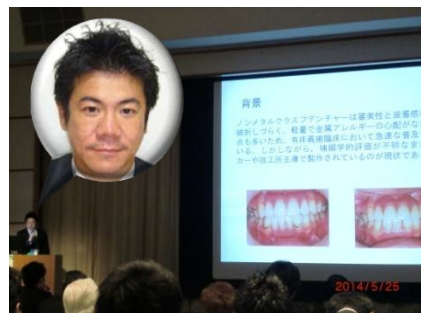
Specialist Seminar

第2日目午後は、メイン会場にて専門医研修単位認定セミナー「一補綴専門医としての全部床義歯のスキルー」が、水口俊介先生を座長に、鱒見進一先生、大久保力廣先生、皆木省吾先生を講師として行われた。大久保先生は「印象採得とデンチャースペースの記録」と題し講演された。ピエゾグラフィーとFBIを用いた義歯製作法が動画をまじえて詳細に解説され、成書などではイメージしにくい術式を理解できたと、受講された先生から高評価であった。また、セミナーでは学生教育で習う“スタンダード”から脱却することが、専門医には求められるとの見解を示した。

前日と同様、第1会場およびサテライトの第4会場とも満員になるほど盛況であった。



多くの聴衆が詰めかけたメイン会場



第3会場 一般口演 (上)新保先生、(中)徳江先生、(下)小澤先生

Oral Presentations

両日を通して2200名を超える参加者があり、口頭発表78演題と演題発表も多く、盛会であった。今回、講座からは、一般口演3題を発表した。新保秀仁先生らは「ノンメタルクラスプデンチャー6年間の予後調査」、徳江 藍先生らは「来院2回で全部床義歯装着可能なDENCAシステムの臨床評価」、小澤大輔先生らは「クラスプに適合させたクラウンの製作—CAD/CAMシステム応用の試み—」を報告した。いずれの発表も会場から多くの質問があり、今後の歯科補綴学あるいは補綴歯科医療への展開に関する深い討論がなされた。

Award Ceremony

本学術大会において、学部助手の徳江 藍先生が奨励論文賞を受賞した。奨励論文賞は、研究の方法や目的に新規性と新しい分野を開拓する可能性があり、且つ、臨床への示唆が大きく、文献考察など理論的背景が十分である論文に対して贈られる賞であり、講座として非常に喜ばしい受賞である。

Committee Seminar

大久保教授:「ノンメタルクラスプデンチャーとは—適応とその留意点—」

Specialist Seminar

大久保教授:「一補綴専門医としての全部床義歯のスキルー」
「印象採得とデンチャースペースの記録」

Oral Presentations

新保先生:「ノンメタルクラスプデンチャー6年間の予後調査」
徳江先生:「来院2回で全部床義歯装着可能なDENCAシステムの臨床評価」
小澤先生:「クラスプに適合させたクラウンの製作—CAD/CAMシステム応用の試み—」

Poster Presentations

西山:「下顎位および顎機能の偏りが身体重心動揺に及ぼす影響(第8報)下顎位の偏位と全身症状について」



奨励論文賞を受賞する徳江先生